

平成17年12月 検定試験

【No.26】 電子制御式 AT の電源回路に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 安定化電源は、AT・ECU 内のアナログ回路、マイコン回路、センサ回路及びアクチュエータ回路の電源として使用するものであり、バッテリー電圧を基に安定化された電源で、バッテリー電圧がある程度変動しても一定の電圧を作っている。
- (2) クランキング時に、バッテリー電圧と AT・ECU 電源電圧が同じで、安定化電源端子に発生する電圧が $5V \pm 0.25V$ を外れる場合は、イグニッション・スイッチやインヒビタ・スイッチの異常が考えられる。
- (3) クランキング時に、スタータ・モータや電子制御回路を作動させるためにもバッテリー端子電圧は $9V$ を下回らないことが必要である。
- (4) イグニッション・スイッチ、インヒビタ・スイッチが ON 時に、AT・ECU 電源端子電圧が $9V$ 以上で、安定化電源端子電圧が $5V - 0.25V$ 未満のとき、AT・ECU 電源回路とアース回路を確保したまま、センサ及びアクチュエータ回路の端子をすべて外して回復しなければ、AT・ECU 内の電源回路の異常である。